

東南アジアにS字のような形をした国をご存じですか？それがベトナムです。人々は愛国心が強く、私も日本に住んでいても、いつも心の中にはベトナムがあります。ベトナムはきれいな景色だけでなく、豊かな食文化を持つ国として知られています。

食べ物はフォーやバインミーなどが有名ですが、3260kmにわたる海岸線のおかげで新鮮な魚介も豊富です。もちろん、マンガーやライチやマンゴスチンなどの熱帯のフルーツもおいしくてとても安いです。ぜひ遊びに行ってみてください。

私は、鳥栖に住んでもう6年になります。日本の桜



国籍 ベトナム

名前 ファム ティ オアイン
年齢 25歳
好きな言葉 楽しみ、幸せ
趣味 旅行

を見たくて、高校を卒業後、日本で働くこと決めました。春の桜と日本の着物は何より美しいと思います。鳥栖市は、便利でとても住みやすいまちです。自然や公園もたくさんあって快適です。さらに、日本人と外国人が交流できるイベントや日本語を教えてくれる教室もあります。これからも、たくさん鳥栖のみなさんと交流できるのが楽しみです。



▲フォーとマンゴー

■やさしい日本語クイズ答え
(28ページ) ①ご飯を食べた後 ②体が赤くなったり、かゆくなったりする ③熱が出る ④病院に行く

とす新風土記「鳥栖市誌」を読む 第121回 「勝尾城を知る」第17話

広門の決断

元亀元年（1570年）今山合戦で大敗北した大友宗麟は、すぐさま博多を守っていた兵士と筑後各地の武将たちを千栗城（みやき町）に呼び寄せることで、龍造寺家の進撃を食い止めることに成功しました。大友家と龍造寺家はここで停戦をします。しかし、両家の小競り合いが止む事はありませんでした。

後から援軍を派遣しました。筑紫家にも大友家から龍造寺家の侵攻に備えるようにと書状が送られていきます。両家の戦いは長らく膠着しました。

ところが天正5年（1577年）鳥津家に敗北した日向国（宮崎県）の武将伊東義祐は、豊後国に逃れ大友宗麟に助けを求めます。

これを受け、大友宗麟は翌天正6年11月自ら大軍を率いて日向国へ侵攻、宮崎県中部の高城（木城町）まで攻めこみます。ところが鳥津家の攻撃を受け大敗北を喫します。この合戦は、高城の戦いや耳川の戦いとも呼ばれています。

この敗戦によって大友家は領地や人材を多く失いました。同時に、それまで龍造寺家の侵攻を抑えていた

多くの支援が途絶します。龍造寺家はこれを機に、佐賀県東部と筑後地方への侵攻を開始し、瞬く間に筑後地方を手中に収めます。筑紫広門は綾部城と千栗城を明け渡して、龍造寺家と友好関係を結びます。

天正7年（1579年）1月、広門は大友家の支配する岩屋城（太宰府市）を攻撃します。広門は大友家と敵対する道を選んだのです。



▲天拝山から岩屋城を望む（筑紫野市）

「鳥栖市誌」発売中

「鳥栖市誌」は、市教育委員会生涯学習課、油屋本店、古賀書店などで取り扱っています。詳しくは、同課（☎0942-85-3695）へ。